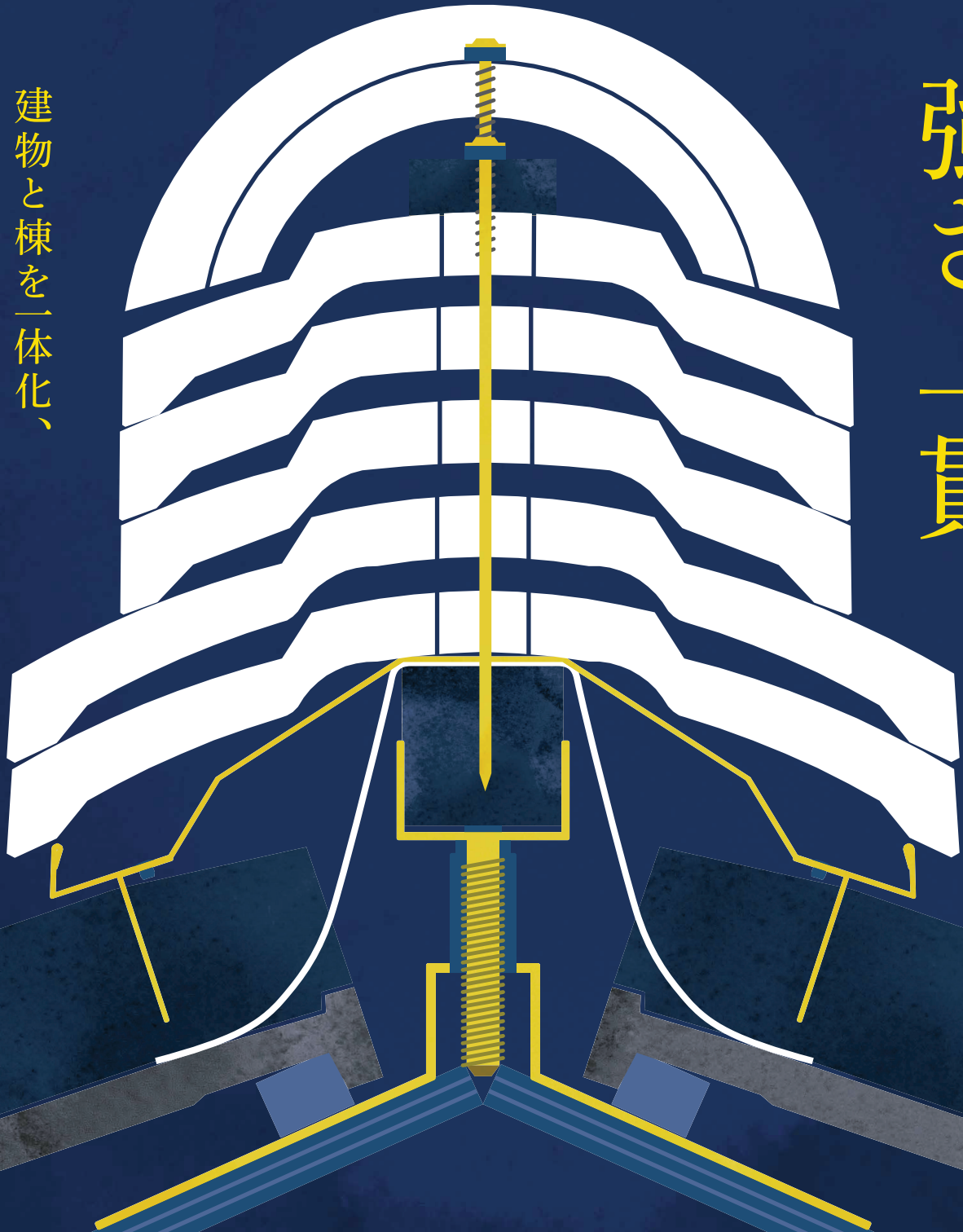


防災乾式工法

# MBK

強さ、一貫。

建物と棟を一体化、  
軽くて強い、新工法を実現！



強いのは当たり前!

石州瓦 丸惣からの提案!

これからの屋根は  
強くて軽くて  
快適な住まいへ。

簡単施工の画期的な完全乾式工法!  
新築・リフォームにも対応。

MBK工法だから  
速くて均質!

MBK工法がもたらす  
スピードと品質!

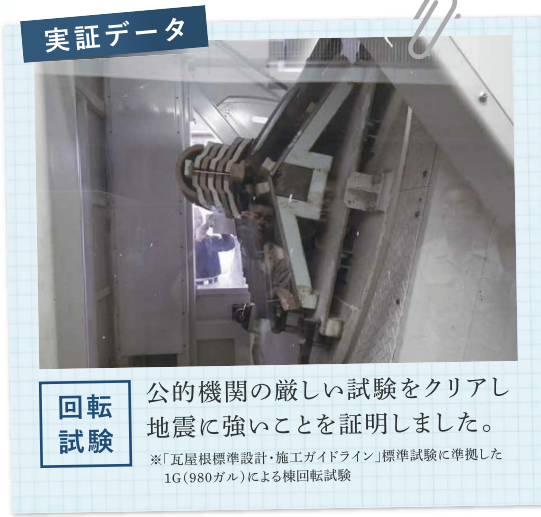
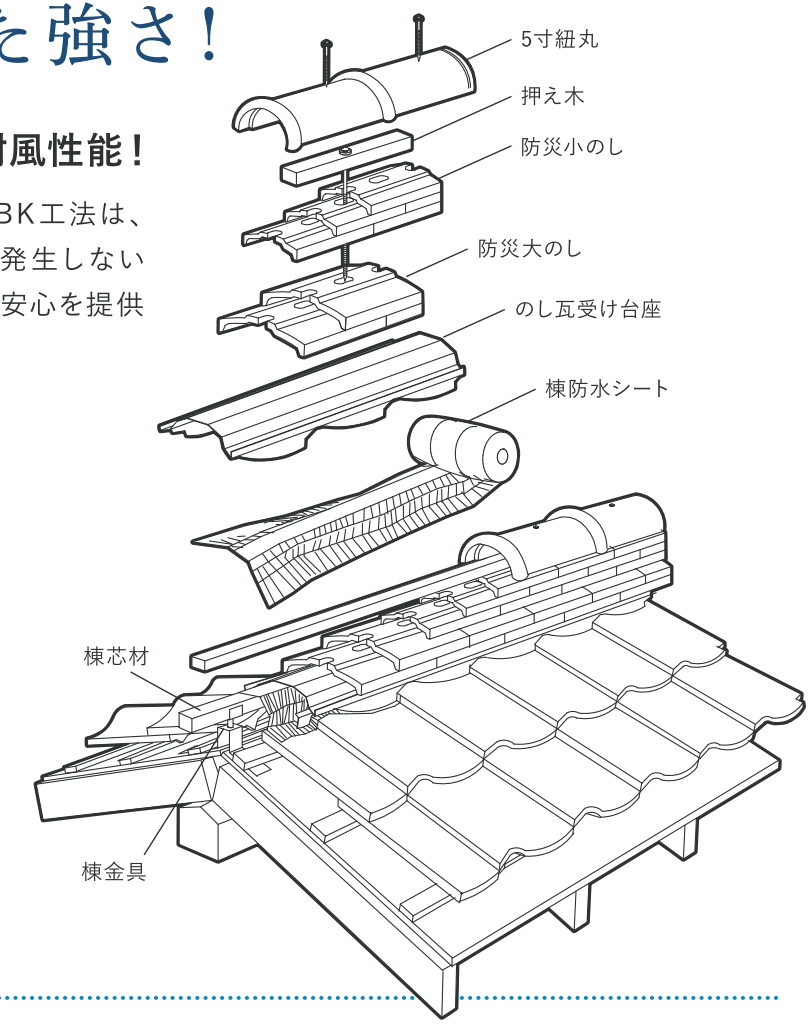
MBK工法=  
Maruso  
Bousai  
Kanshiki



MBK工法が実現する  
安定した強さ!

抜群の耐震・耐風性能!

完全乾式であるMBK工法は、  
湿式材料の劣化も発生しない  
ため、長期に渡って安心を提供  
いたします。



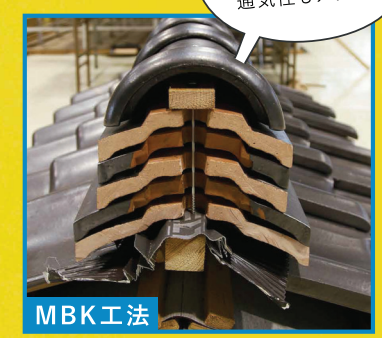
公的機関の厳しい試験をクリアし  
地震に強いことを証明しました。  
※「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」標準試験に準拠した  
1G(980ガル)による棟回転試験

1 土を使わない完全乾式

湿式材料を使わないMBK工法だから、大  
幅な軽量化を実現することができました。



重さが  
70%  
減量  
(当社比)



乾式工法だから、  
屋根部分の  
通気性もアップ!

施工時間を  
大幅短縮!

軽量化による作業の効  
率化と、汚れないこと  
で片付けが楽になり、  
施工時間が大幅に短  
縮されます。

2 天候の影響が少ない!

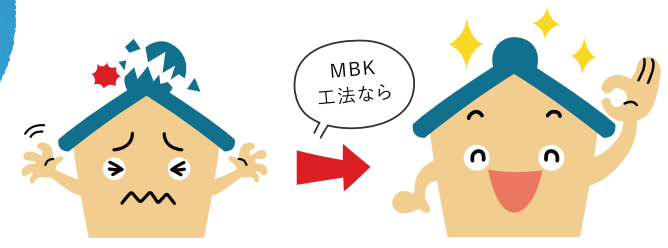
MBK工法は、湿式工法に比べ、施工時に  
天候の影響を受けにくくなります。

3 均質施工

システム化された構成部材を使用  
するMBK工法は、施工品質の平準  
化を実現することが可能です。

MBK工法だから  
メンテも  
安心!

破損部分だけの交換もOK!  
メンテナンスも考えた機能性。



湿式工法とくらべ、MBK  
工法は、メンテナンスが  
容易なことも特徴です。

MBK工法だから  
快適を  
実現!

屋根換気で  
快適な住まいを実現。

MBK工法には、屋根換気のための専用部材が  
準備されております。住宅の長寿命化に有効な  
棟換気を可能にします。



# MBK工法構成材

<p>●防災大のし</p> 		<p>●防災小のし</p> 		<p>□ カラーバリエーション</p>  <p>銀黒      赤      鉄砂      来待</p>	
<p>●5寸素丸</p> 	<p>●5寸紐丸</p> 	<p>●足高5寸紐丸(オプション)</p> 	<p>●防災棟専用 カエズ棟鬼5寸</p> 	<p>●防災棟専用 カエズ隅鬼5寸</p> 	
<p>●棟金具</p> 		<p>●棟防水シート</p> 		<p>●パッキン付ステンレスネジ(らくちんビス)</p>  <p>5寸紐丸、足高5寸紐丸、 5寸素丸止め用 55mm のし 3段用 125mm のし 4段用 150mm のし 5段用 180mm のし 6段用 210mm</p>	
<p>●押え木・棟芯材</p> <p>□ 押え木 15×40</p> <p>□ 棟芯材 40×40</p>		<p>●のし瓦受け台座(専用板金)</p> <p>□ 大棟用(3谷・5谷)</p>  <p>※黒面戸・白面戸あります。</p>		<p>□ 隅棟用</p> 	
<p>●防災棟換気部材</p> <p>□ 換気棟SS850J</p>  <p>付属シート</p> 			<p>□ のし瓦受け台座通気(専用板金)</p>  <p>※黒面戸・白面戸あります。</p>		

## <安全に関するご注意>

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域或いは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

## <粘土瓦の特性について>

粘土瓦は天然素材のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは、粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はなりません。【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは、釉薬の気泡や粘土に含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが品質上の問題はなりません。

# 瓦百景株式会社

【出荷・営業・製造】

〒699-2507 島根県大田市温泉津町井田イ945-2

TEL 0855-66-0111 FAX 0855-66-0825

<http://kawara100.co.jp>

2016.7.2000